

Hello

we are NVLU

新しいニチジュウスタイル



「獣医軟部外科学Ⅱ」の講義収録の様子
獣医外科学研究室 原 康教授と教務課スタッフ

P.4 特集・ニチジュウの遠隔授業

- ・清水一政学長/鈴木浩悦教務部長メッセージ
- ・“withコロナ”の時代。ニチジュウのこれから
- ・ニチジュウの新しい授業スタイル
- 獣医学科 獣医免疫学/倉田修教授
- 獣医保健看護学科 野生動物学/瀧本樹助教
- 動物科学科 基礎実験動物学/藤平篤志教授
- 食品科学科 食品化学/松石昌典教授

P.12 連載・スペシャリストへの道

- ・獣医生命科学研究科 獣医保健看護学専攻 博士前期課程1年次 植村光希さん
- ・株式会社長嶋/ファームサポートかとり株式会社 長嶋透さん(1988年経営畜産学科卒業)

P.14 Congratulations on the award

- ・武蔵野賞

P.15 [News Topics]ニチジュウCAMPUS NOW

- ・IR情報 データで読み解くニチジュウ

CONTENTS

Hello 
we are NVLU

動物とヒトを繋ぎ、都市と地方を繋ぐ架け橋はヒト自身です。未来につなげるにはヒトとヒトとの繋がりを大切にしなければならず、本大学にとって「繋がり」は強みです。その強みを一言で表すと「Hello」。

獣医と生命科学の情報発信拠点たる我々が世界にHelloと呼びかける必要があるのです。

コロナ禍における講義と実習

教務部長 遠隔授業プロジェクトチームリーダー **鈴木 浩悦**

大学では例年学事予定を作成しますが、今年度は何度も書き換えられ、講義開始は5月4日となりました。幸いなことに本学では5年前から、インターネットを介した授業資料の閲覧、レポートの提出、テストの実施を可能とする学修支援システム(LMS)を導入しています。遠隔授業プロジェクトチームと教務課の協力体制のもと、アンケート調査を行い、学生のニーズに合った「音声付き授業資料」や「講義動画」の作製を推進し、大学全体としてオンデマンド型を中心とした遠隔授業を実現しました。これにより学生はPCやスマホからLMSにアクセスし、音声なし動画を繰り返し視聴しながら学修を進めることができます。一方、実習は6月15日まで開始が遅れまし

たが(この時点で対面授業の実施は全国の大学で3割程度)、講義をオンデマンド型に切り替えたことで、午前から午後にかけて分散型の実習を実施することができました。年度初めの大学報で、大学が危機を乗り越えるためには関係者の一致団結が必要と書かせていただきました。保護者のご協力と教職員の努力により、コロナ禍にあっても講義と実習を実施でき、学生からこの方式が支持されていることは有り難いことです。今後は教員と学生間のコミュニケーションや個別指導を促進するため、すでに実施されているオンラインリアルタイムの授業を充実させ、感染防衛に徹した対面講義も一部実施する予定です。ご協力をよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症により皆様の生活に多くの影響が出るなか、日本獣医生命科学大学では前期の授業を一部の実習を除き遠隔授業にて実施してまいりました。後期におきましても、学生や教職員の安全を第一に考え、現時点においては前期に引き続き、一部対面授業を含みながらも遠隔授業を中心とした実施パターンを継続することといたしました。学生の皆さんが不利にならないように、また学生の声に耳を傾けながら、大学として最大限配慮するとともに、感染拡大防止に努めてまいりますので、皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

さてそうした状況の中におきましても本学では「新しいニチジュウスタイルの構築」に向けて、先生方大変な努力により、様々な取組みに着手しております。授業の様子を撮影し、それがそのまま電子教材となるような「講義収録システム(仮称)」を講義室に4室設置します。またWEB会議システムを利用し

たりリアルタイムな授業や遠隔相談(オンラインカウンセリング)を実施します。さらに、今後予定されている獣医学の教育評価及び国際認証の取得、動物医療センターの電子カルテシステムや富士アニマルファームを利用したオンライン化を計画するなど、コロナ禍におきましても新しいニチジュウスタイルの構築に向けて、ICTを基盤とした新たな学修支援(授業外学修等)や学生生活支援の在り方を推進することにいたしました(写真はWEB会議システムを利用した会議に参加する様子)。

令和2年度の事業計画における基本方針は「日本獣医生命科学大学に集う全ての力を結集」と定めております。学生、教職員、並びに保護者の皆様や同窓生の皆様の力を結集して、この難局を乗り越え、新しいニチジュウスタイルの構築を進めてまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。

新しいニチジュウスタイルの構築に向けて

日本獣医生命科学大学 学長

清水一政

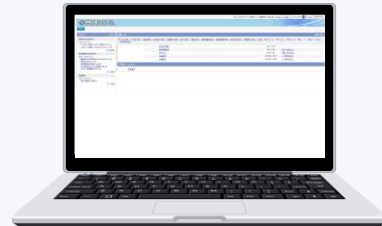
※写真は遠隔授業プロジェクトチーム 柿沼美紀教授とともに

“withコロナ”の時代。 ニチジュウのこれから

学修支援システムとは？

【特長1】見やすい！履修に対応した表示

学修支援システムは、各学生が履修している科目の一覧が時間割に沿って表示されます。



使い方は、入学時のオリエンテーションで学びます。

【特長3】いつでも！どこでも！学習可能



学修支援システムへは、大学にいないでも、いつでも、どこでもログインすることができ、好きな時間、好きな場所で学習することができます。

また、スマートフォンからも資料の閲覧やテストの受験が可能です。

ニチジュウの遠隔授業は学修支援システムを活用し、行っています。学修支援システムとは、大学の授業運営を効果的に支援するシステムのことです。他大学でも広く導入されています。本学では、平成27年に導入が決定され、翌年、本格的に稼働しました。



【特長2】使える！さまざまな機能

学修支援システムには多くの機能が備わっており、教員が科目ごとに設定した機能を使い、学生は資料の閲覧やテストの受験ができます。

《主な機能》

- 資料…PDFや動画など、授業資料を閲覧することができます。
- レポート…レポートを提出することができます。
- テスト…システム上でテストの受験ができます。
- アンケート…授業評価などのアンケートに回答できます。

《その他の機能》

e-learning/掲示板/フィードバック/グループワーク/クリッカー/講義概要/成績参照/FAQ/Q&A/お知らせ など

新しいニチジュウスタイル① 授業へのサポート

【取組1】遠隔授業へ

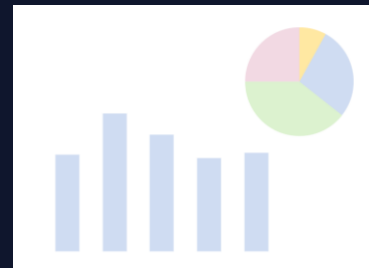
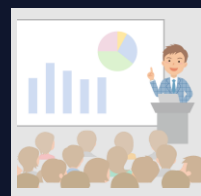
この度、本学でも動画配信システムを導入することになりました。

この動画配信システムを利用すると、講義風景とスライドを2画面とし、受講者は両方を同時に視聴することができます。

これまで、各教員が用意した機材を使用し、前期の遠隔授業を行っていました。また、本学には専用設備がないため各研究室や自宅で作成や動画収録を行うなど、試行錯誤を重ねてまいりました。この動画配信システムで、教員がより簡単にコンテンツを作成することができ、遠隔授業においても質の高い講義をより多く、学生へ届けることが目的です。

また、後期はいくつか対面授業が計画されていますが、止むを得ず欠席した場合の補講にも展開が計画されています。

※動画配信システム
イメージ



【取組2】対面授業へ

実際に対面授業を行っている講義室の隣の講義室にもスライドとマイクの音声が入る仕組みを導入し、学生がお互い距離を保ちながら対面授業を行う施設の整備も順次進めています。

新しいニチジュウスタイル② オンラインカウンセリング

学生の見えないストレスや様々な悩み、例えば学生生活を送る中で感じる心配なこと、不安なこと、落ち込むこと、いらいらすること、家族や友人のこと等について、誰かに話してみたい、そうした学生の心に、声に向き合うためにも、対面だけではない多様な学生生活支援のチャンネルとして実施します。

【取組1】担任相談

【取組2】臨床心理士によるカウンセリング

【取組3】昼休みの学生相談

環境が整い次第
実施します。
ご利用ください。

学生相談室長 吉田 充

コロナ禍の中で学生諸君は大変な思いをされていると思います。特に、1年生は期待していた学生生活が送れず、友だちも作れず、部活動もできず、様々な我慢を強いられていると思います。

学生部では東京都内の感染者の発生状況を注視しながら、様々な制限を徐々に緩和することになっています。何か困ったこと、判らないことがありましたら、どうか気軽に学生支援課、学生相談室を利用してください。

学生部長 竹村 直行

【取組4】キャリアカウンセリング

学生支援課キャリア支援相談室では、WEB面談によるキャリアカウンセリングを実施しています。

対象：各学科最終学年、獣医学科5年次、他学科3年次学部生、大学院生

申込方法：

希望面談日前日の9時00分までにメール予約。

syushoku@nvl.ac.jp

実施日時：月～金曜日

①10:00～10:30 ②11:00～11:30

③14:00～14:30 ④15:00～15:30

⑤16:00～16:30

※金曜日のみ⑤は予約不可



実施中!!
申込お待ちしております。

実際どうなの？遠隔授業

遠隔授業を受けている学生は、実際のところ、本当はどう思っているのか…!?
今回は大学取材初の、オンライン会議システムを用いて取材しました!

Q. どこで遠隔授業を受けてる？

A. 自宅の自分の部屋で受けています。遠隔授業が始まるからといって、新しく購入したものではありません。

Q. 遠隔授業の良い点は？

A. 自宅から大学まで片道1時間弱かかるので、通学時間がなくなり、他のことに使える時間が増えたのは良いことだと思います。それから、授業の内容は対面授業より理解できています(笑)周りに人がいなくて集中できるからだと思います。

Q. 例えばこれからもずっと遠隔授業が続いたら？

A. それは正直ちょっと辛いかもしれません…(笑) 友人たちにも会いたいですし…。それから、図書館で本に触れる機会が欲しいですね。前は先生のおすすめ本を探しに行ったりしていたけれど、最近はインターネットで答えを求めるようになってしまいました。ネットで完結してしまうのは寂しいので、図書館で探したいです。



獣医学科4年次
中村圭吾さん



Q. 遠隔授業に思うことや、これから期待することを教えて！

A. 遠隔授業だと先生方と直接お会いすることができないので、距離感が近いと安心できます。また、最初は先生方もきっと慣れていなかったのだと思いますが、授業の日なのに教材が上がっていないことがありました(笑)最近は何もなく、先生方の工夫を動画からもものすごく感じます。大変だと思いますが、後期も色々な方法で授業が受けられると良いなと思っています!

ニチジュウの新しい授業スタイル

獣医学科3年次開講科目

獣医免疫学

講義ができるまで

①講義資料(スライド)の準備(30分~1時間)

昨年度使用したものをベースに、新しい情報を取り込む。

ただし、新たに作る場合は数時間必要。

②資料の説明事項の整理(4~6時間)

各スライドで話す内容を考えてシナリオを作成。対面授業では説明を繰り返したり、少し脱線して背景を紹介して理解を深めてもらうようにしているが、動画の視聴時間が長くなるため、別途準備。

③動画撮影(1時間~2時間)

スライド1枚毎に動画を撮影。作ったシナリオをパソコンに映し、スライドを入れる位置を確認しながら、内蔵カメラで動画を撮影。担当が誰か分かるよう、顔出ししている。

④動画編集(1時間)

動画編集ソフトを用いて動画、音声及びスライドの貼り合わせと切り取り。集中力が切れないよう、なるべく20分以内の長さに編集。

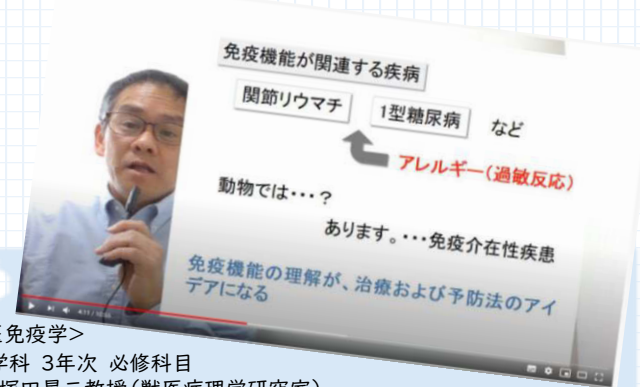
⑤YouTubeへ登録(15分)

限定で公開。登録が短時間、登録後の動画修正が簡単、誰でも使いやすいという点から、YouTubeを使用。

⑥学修支援システムへ登録(30分~1時間)

動画資料、スライド資料、理解度チェックテスト、質問受付等を登録。

新型コロナウイルスの影響で、遠隔授業を行うことを余儀なくされた令和2年度前期。大学にとっても、初めての試みです。今回は、各学科の授業科目をご紹介します。



<獣医免疫学>

獣医学科 3年次 必修科目

担当:塚田晃三教授(獣医病理学研究室)

土田修一教授(比較細胞生物学研究室)

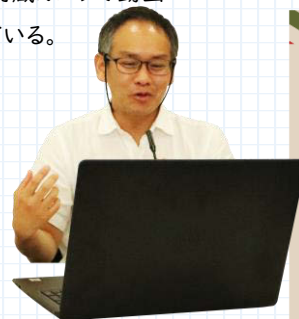
倉田修教授(水族医学研究室)

免疫学は、臨床および基礎を問わずすべての分野に関連する自己・非自己認識機構を体系的に理解するものである。免疫機構の特徴である特異性、多様性、記憶および寛容の機序を理解し、各種疾患(感染症、腫瘍、免疫不全、アレルギー、自己免疫性疾患等)および臓器移植における免疫機構の役割について知る。また、免疫機構を活用したワクチンや免疫療法の原理・技術に関する知識を習得し、他の教科との関連付けができる応用力を身に付ける。

POINT シナリオ作成に時間をかけ、動画はなるべく**20分以内**に収める。

POINT 今や多くの人が日々使っている**YouTube**を使用して、講義を手軽に。

POINT 担当が誰か分かるように、**顔出し**。



こぼれぼなし
こんなことがありました

マイクの入手先はなんと〇〇…!

マイクの入手が困難だった時期、たまたま行ったスーパーの文具売り場でマイクを発見!なんと1,000円ほどで購入できたそうです。



夜な夜な一人で動画撮影

動画は、自宅で家族が寝静まった夜に、一人で部屋にこもって撮影していたそう。夜中までかかったこともあったとか。

今年はゆっくり喋って撮影したら…

以前、授業アンケートに「早口です」と意見があったため、ゆっくり喋るよう心がけて動画を撮影したところ、今年のアンケートには「2倍速でちょうど良い」と書かれていたのだとか。速さは難しいですね。

FD委員会の動画教材作成のノウハウが活かされた!

動画編集ソフトは、FD委員会で動画教材作成について勉強した際、他の先生がおすすめていたものがたまたま自前のパソコンに入っていたとのこと。ソフトの使い方もその時習っていたので、難く使えそうです。

新型コロナウイルスが落ち着いても動画教材を活用していきたいです。並行して行う対面授業では質問&解説や、科目に関する最新知見の紹介などを行える時間にできると理想的です。動画教材はなるべく自分が考えるイメージに近いものを作るようにはしましたが、受講生の希望に沿っているか不安です。授業アンケートで積極的に意見を寄せてほしいと思います。

獣医学科 水族医学研究室
倉田 修 教授

獣医保健看護学科1年次開講科目 野生動物学

講義ができるまで

①Cisco Webexの使用方法についての学習と資料づくり(4時間)

- ・研究室の学生を相手にCisco Webexの使用方法を学習。
- ・使用方法をまとめた資料を作成し、学生に配布。

②Cisco Webexの動作チェック(9時間)

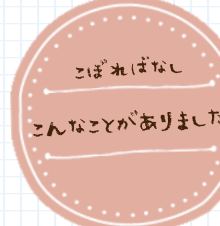
- ・野生動物学に限らず、座学の講義が行われる獣医保健看護学科1~3年次学生を対象に、3日間、合計9時間の時間を使って、音声や映像が問題なく見聞きできるかを確認。音声トラブルが多かったが、「チャット欄」を使って指示を行い、解決。

③Cisco Webexを使用してリアルタイム配信

- ・学生の負担にならないよう、1時間程度のリアルタイム配信で講義を実施。1年次学生の講義ということもあり、「チャット欄」を活用して学生たちとコミュニケーション。チャットで来た質問に、その場で答える“生配信者”スタイル。

④配信した講義動画を学修支援システムへ登録

- ・出席できなかった学生や、繰り返し見返せるよう、配信した講義動画を学修支援システムへ掲載。
- ・各講義ごとに質問箱を設置し、必須の小テストも登録。学修支援システムの機能をフル活用して、理解が深まる仕組みを作成。



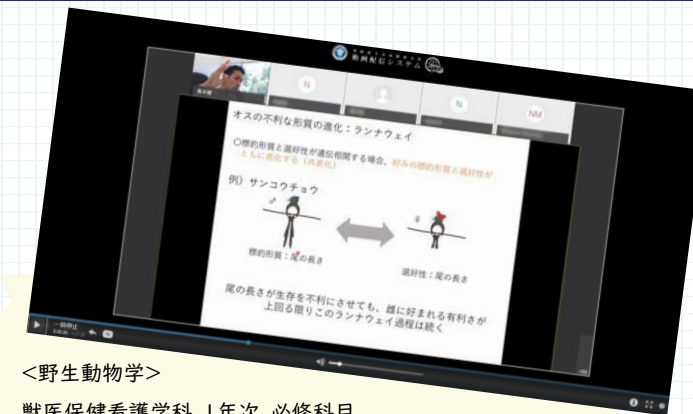
趣味のおかげで遠隔授業にも難なく対応

趣味でパソコンに触れる機会が多いため、その知識が遠隔授業にすごく活かさそう。教員からやり方を聞かれることもあるのだとか。ヘッドセットなどももともと持っていたため、ほぼ自前のもので対応できたそうです。ヘッドセットは壊れかけのためNGとのことで、今回は見られず…!



チャット欄で"大盛り上がり"…?

1年次学生は大学入学後、すぐに遠隔授業になり、大学にも慣れていない状態。少しでも距離を縮めて、講義が楽しくなるように、「チャット欄」を活用。最終講義では時間に余裕があったので、プライベートに関する質問も受け付けたところ、音楽や趣味の話で大盛り上がり!趣味が気になる方は、直接畠本助教までどうぞ!



<野生動物学>

獣医保健看護学科 1年次 必修科目

担当:山本俊昭准教授、畠本樹助教

(獣医保健看護学応用部門 保全生物学研究分野)

野生動物学は複数の学問領域にまたがった応用的学問である。生態学だけでなく、形態学、繁殖学、遺伝学、生理学などを総合的に学ぶことによって動物の生態特性を理解する。さらに、具体的な保護・管理を行う上での具体的な方法を挙げながら、日本の野生動物に関する課題について考える。

- POINT** 全員がスムーズに講義を受けられるよう、時間をかけて**事前の動作確認**。
- POINT** 学生との距離を縮めるために、積極的な**コミュニケーション**。
- POINT** 理解が深まるよう、学修支援システムの機能も**フル活用**。

最初は顔出ししていなかったけれど…

最初は顔を見せずに講義を行っていたのが、ある時から顔出したところ、学生の反応が良かったそう。顔を出した方が、学生にとっては講義を受けている実感があるのでしょうか…?

リアルタイムでもオンデマンドでも、学生にはパソコンの画面を長時間直視することを強いてしまいます。事情が事情ですので致し方ありませんが、少しでも気が紛れるように講義内容を工夫してみたり、こまめに休憩を取るのも必要かもしれません。新型コロナウイルス感染症の拡大は未曾有の事態であり、私たち教員も分からないことばかりです。そのため、私もトライアンドエラーを繰り返し、手探りでより良い講義の仕方を模索していきたいと考えています。

獣医保健看護学科
獣医保健看護学応用部門 保全生物学研究分野
畠本 樹 助教

THE ROAD TO SPECIALIST スペシャリストへの道

本学の教育理念は「愛と科学の心を有する質の高い獣医師と専門職及び研究者の育成」。獣医、獣医保健看護、動物、食品に関する専門職(スペシャリスト)の道を歩むことを目指す学生の活動と既に歩んでいる卒業生の活躍を紹介します。

学生編

——植村さんは沖縄県出身ですが、本学に入学を決めたのはなぜですか？

沖縄県にも動物看護師の資格を取れる専門学校はありますが、4年制大学で動物看護について詳しく学びたいと思いました。また、獣医学科があり、教職課程や学芸員課程があるところも魅力でした。実際に教職課程を履修し、教員免許を取得しました。

——東京に出てきて、苦勞したことはありますか？

一人暮らしです。大学進学を機に始めました。家探しや家具・家電について大学生協の方にもフォローしていただき、本当にありがたかったです。

——逆に一人暮らしをして良かったことはなんでしょう？

時間を自由に使えることです。また、実家にいた頃と比べて、自立したと感じています。

——大学院への進学を決意したのはいつ頃でしょう？

大学3年生の半ばくらいだったと思います。研究室配属後1〜2か月経った頃でしょうか。

——何かきっかけはあったのですか？

3つあります。1つ目は、研究って面白いと思ったからです。研究は、苦勞した分だけ実験が成功した時の喜びや達成感を得られます。2つ目は、大学院生の先輩のようになりたいと思ったからです。

先輩は学会発表や論文投稿をしたり、私に実験を教える時も専門的な内容を事細かに教えてくださいました。私にとって先輩は憧れです。最後に、進学を決意した理由に母の存在があります。母は私が小学生の頃に乳がんで亡くなりました。がんになる遺伝子を持っていると分れば、がんになるリスクを最小限に低くする措置をとることが出来ます。イヌでは、乳腺腫瘍が雌イヌの全腫瘍に占める割合が約40%に達すると言われており、これほど多く乳腺腫瘍を発症する動物は他に知られていません。イヌの乳腺腫瘍関連

遺伝子の働きを調べることで、予防や治療に活用できると考えました。さらに、イヌで実証された実験がヒトのがん研究に役立てばと思い、進学を決意しました。

——植村さんは学会で発表を行うなどの研究活動の功績が認められ、昨年度樺賞を受賞しましたね。大学院修了後は、どのような進路をお考えですか？

色々考えた結果、企業就職を考えています。製薬関係、なかでもCRO業界(開発業務受託機関)を視野に入れています。教員免許は、後輩ができた時の指導などにも活かしていきたいです。

——ありがとうございました！



▲学部生時代には多くの資格を取得しました！

学びをヒトに活かすために。

獣医生命科学研究科 獣医保健看護学専攻
博士前期課程1年次 植村 光希

卒業生編

長嶋 透(Toru NAGASHIMA)
1988年 3月
日本獣医畜産大学獣医畜産学部経営畜産学科卒業
1989年 4月
家業に従事(酪農)
2010年8月
牧場法人化に伴い、株式会社長嶋 代表取締役就任

酪農に、生きる。

株式会社長嶋 代表取締役
ファームサポートかとり株式会社 代表取締役
長嶋 透

——本学を卒業されてから約1年間、研究生としてどのようなことをされていたのですか？

英語力を身に着けたくて、オーストラリアの牧場で働きました。半年間、費用を工面するために先輩の養豚場に住み込みで働き、アルバイトを掛け持ちしながら貯金をして、ワーキングホリデー・ビザで数か月間オーストラリア・ニューサウスウェールズ州の牧場に住み込みました。養豚場での経験は、畜産経営について多くのことを学ばせていただきました。

——昨年、オーストラリアに牛の買い付けに行った時は、30年前の渡豪経験が役立ちました。

——海外の酪農を実際に体験されたのち、ご実家の牧場で酪農に従事されたのですね。“家業(酪農)を継ぐ”ことに対して、どう考えていましたか？

酪農家の長男として育てられたので、漠然と将来は酪農をするものだと思い込んでいました。高校生の時は他の進路も考えましたが、私に実力がありませんでした。

——2010年に牧場を法人化されていますが、株式会社長嶋の事業内容について教えてください。

搾乳牛180頭、育成牛40頭の牧場を経営しており、従業員5名、技能実

習生4名がいます。肉用素畜販売(150頭)、生乳販売(1800t)と、各種の作業請負を行っています。それから、自給飼料用のデントコーンを18ha作付けしています。

——ファームサポートかとり株式会社の事業内容を教えてください。

酪農家5名の出資で発酵TMR(Total Mixed Rations: 完全混合飼料)センターを設立し、飼料作物コントラクターをする会社です。

乳牛500頭の発酵TMR製造と、稲WCS(稲発酵粗飼料)の収穫作業(70ha)、デントコーン作業(15ha)を行っています。

——ファームサポートかとり株式会社を立ち上げようと思ったきっかけはなんですか？

地元の千葉県香取市で生産される稲WCSをいかに使い込んでいくかと考えた結果、発酵TMRセンターの設立にたどり着きました。

——会社を立ち上げるまでに苦勞されたことがあれば教えてください。

いくら品質の良い発酵TMRを製造しても、コストが高くては意味がありません。コストダウンには苦勞しました。

——大変だったことを教えてください。

購入飼料で約20年、牛乳生産に勤んできましたが、地域で増える耕作放棄地や水田で飼料を作ることで、酪農の社会的責任を実感しています。

——最後に、経営者として心がけていること、または大切にしていることを教えてください。

乳牛は、穀物や野菜の生産できない土地での牧草栽培や耕作放棄地で栽培された飼料、食品製造副産物等の人類と競合しない物から私達に価値の高い「牛乳」を与えてくれます。「牛乳」は飲用だけでなく、バターや粉乳となって保存食となり、ヨーグルトなど健康維持に必要な食品でもあります。チーズは奥の深い食文化を与えてくれます。このような「牛乳」生産に携わることを誇りに思っています。

——ありがとうございました！

ある1日のタイムスケジュール

5:00 牧場の作業指示
8:00 ファームサポートかとり株式会社 出社し、作業指示
13:00 打合せ、商談等
17:00 牧場に戻り、作業

Congratulations on the award

武蔵野賞

各学科各学年で、学業成績が特に優秀で、人物が優れている3名に対し、与えられます。

獣医学科

2年次 首席/石田 樹さん	次席/石原 明歩さん・瀧本 まどかさん
3年次 首席/金山 涼音さん	次席/酒井 清奈さん・鈴木 友輔さん
4年次 首席/田原 果凜さん	次席/小野沢 萌さん・徳長 ゆり香さん
5年次 首席/漆山 尚也さん	次席/漆山 文也さん・大矢 真里奈さん
6年次 首席/鈴木 天音さん	次席/菅野 はるかさん・木村 留華さん

獣医保健看護学科

2年次 首席/天海 夏音さん	次席/石田 麻佑子さん・樋口 雅世さん
3年次 首席/駒村 衣美さん	次席/小林 光さん・塩田 萌恵さん
4年次 首席/鈴木 遼太郎さん	次席/石田 南さん・石田 悠華さん

動物科学科

2年次 首席/澤田 梨音さん	次席/池田 実園さん・大山 ひかりさん
3年次 首席/関 千晶さん	次席/江島 礼紗さん・鈴木 みやびさん
4年次 首席/渡邊 優菜さん	次席/鈴木 円香さん・服部 愛さん

食品科学科

2年次 首席/平岡 明日香さん	次席/石上 季里さん・石川 晏名さん
3年次 首席/小柳 達也さん	次席/杉山 詩織さん・松山 莉那さん
4年次 首席/浅田 ゆりさん	次席/坂下 帆乃夏さん・津田 水希さん

首席の皆さんに聞きました

Q 定期試験対策を教えてください！



時間がなかったため空き時間を利用していました。

獣医学科2年次 石田 樹さん

友達と一緒に話し合いながら勉強します！

獣医保健看護学科2年次 天海 夏音さん



授業中に作ったノートの内容をひたすら覚える！

動物科学科2年次 澤田 梨音さん

毎授業ごとに自分なりにまとめておくことでテスト前に効率的に勉強しています。

食品科学科2年次 平岡 明日香さん



Q 勉強の合間のおすすめリフレッシュ方法は？

ぼーっとする、絵を描く、歌う

(獣医学科3年次 金山 涼音さん)

世界の絶景スポットの画像をひたすら眺めています。

(獣医学科4年次 田原 果凜さん)

音楽を聴いたり、YouTubeで動画を見ることです！

(獣医保健看護学科3年次 駒村 衣美さん)

飼っているペットたちと遊んで癒されています。

(動物科学科3年次 関 千晶さん)

数分間昼寝する事です。

(食品科学科3年次 小柳 達也さん)

Q 下級生へ勉強のアドバイス！

一度では身につかないので、復習を！

(獣医学科5年次 漆山 尚也さん)

実習へGo!ポイントが分かるようになります。

(獣医学科6年次 鈴木 天音さん)

好きな科目は全力投球!他の科目も気を抜かず。

(獣医保健看護学科4年次 鈴木 遼太郎さん)

復習に力を入れる!理解しやすいノートを作り直す!

(動物科学科4年次 渡邊 優菜さん)

自分なりにまとめて整理を!

(食品科学科4年次 浅田 ゆりさん)

ニチジュウ

CAMPUSNOW

News Topics



一号棟(本館)、工事中

一号棟が国の登録有形文化財(建造物)への登録を受け、文化財保護の観点から、建物上屋の耐震化、建物基礎の補強、建物周囲の環境改善を行うこととなりました。

建物基礎の補強では、老朽化した既存基礎を撤去し、新設します。そ

の際、建物を現在の場所から4m程度移動が必要となり、2020年10月現在、移動に向けて作業中です。

移動には、建築物をそのままの状態で移動する「曳家」という建築工

法が用いられます。全ての作業は2021年度末に完了予定です。



生命科学総合研究センターが一新



平成28年2月に設置された生命科学総合研究センターは、令和2年5月に4つの部門等からなる総合研究プラットフォームに一新されました。

当センターは、優れた研究環境と高い研究水準を誇る国際研究拠点の形成、さらなる研究力強化の推進、

イノベーション創出に向けた産学官連携の推進を行い、具体的には、

①本学独自の研究シーズの育成及び社会への発信の支援、②研究業務に関わる人材の育成と活用、③分野横断型の研究コンソーシアムの立ち上げを目指しています。

詳しくはこちら▶



獣医学科 常盤俊大講師が「2019年度笹川科学研究奨励賞」を受賞



本学獣医学科 常盤俊大講師が、「寄生性カリオスポラ属原虫の系統分類からみた鳥類宿主への適応過程」に対して、公益財団法人日本科学協会より2019年度笹川科学研究奨励賞を授与されました。



動物科学科 倉岡睦季助教が「令和2年度日本実験動物学会 奨励賞」を受賞



本学動物科学科 倉岡睦季助教が、「イヌ筋ジストロフィーモデルにおける新規の治療評価指標開発を目指した研究」に対して、日本実験動物学会より令和2年度日本実験動物学会奨励賞を授与されました。



遠隔授業について、学生の皆さんの声を聞きました。



評価が高かった科目の特徴は…

- ・動画がうまく活用されている(講義だけでなく、顔出しや肉声による声かけ含む)
- ・双方向性が確保されている(メールやチャット、レポートの評価など)
- ・小テストやレポート課題が充実している



人と接する機会が少なくなってきたから、繋がりが感じられると安心するね。

第3回 遠隔授業実施に伴うアンケート
【調査日】令和2年6月29日～7月13日
【実施方法】WEB回答(学修支援システムアンケート)
【調査対象】全学部学生(1,681名)
【回答率】39%

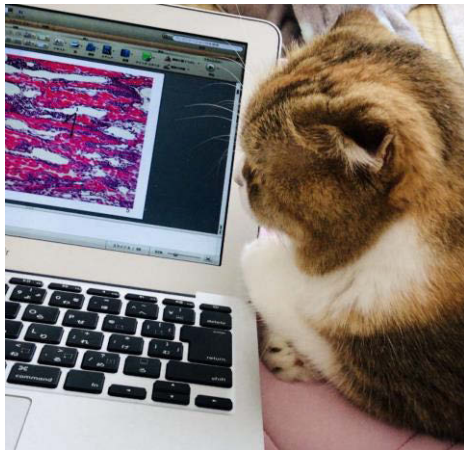
nichistagram

私の新しい生活様式

Related Hashtags: #ご投稿くださった皆さま #ありがとうございます #次回もまた投稿してね



Daifuku



#猫との生活始めました。
#自宅での勉強 #組織学



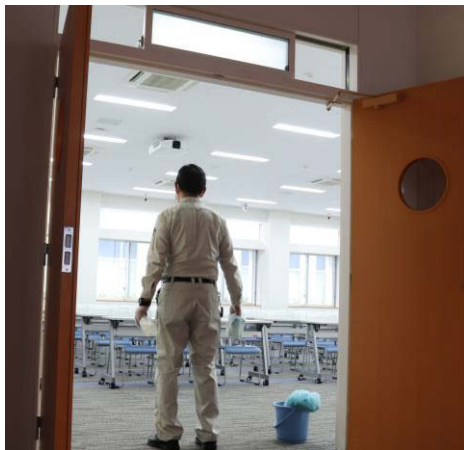
positive_thinking



#田舎のランニングロード
#痩せたい #気休め程度の運動



jimu_nvlu



#E111 #これから消毒
#いつもありがとう

vol.72 表紙絵

佐藤千尋さん(獣医学科4年次)



今回のテーマが「遠隔授業」ということで、遠隔授業に必須アイテムであるパソコンをモチーフにしたキャラクターを人間の横に描きました。また、日獣らしさを出せるように、シンボルである一号棟を絵の中央に描いてみました。真ん中にお星様の妖精は遠隔授業の送信源のイメージで、授業がそれぞれの生徒へ飛んでいく様子を星に表して描いてみました。コロナで暗い世の中ですが、表紙絵はポップで明るくしたかったので楽しい雰囲気がでるように頑張りました。